

令和2年度 環境活動スタート事業

1 実施校

川俣町立川俣中学校（第2学年）

2 実施日

令和2年7月10日（金曜日）

3 内容

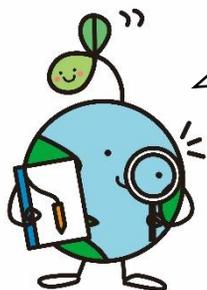
「だれ一人取り残されないために＝僕の国キリバスからのメッセージ＝」をテーマに、一般社団法人日本キリバス協会代表理事のケンタロ・オノ氏による講演会を行いました。キリバスの歴史や現状、また、地球温暖化が及ぼす影響について、資料映像（VTR）や写真を交えながら分かりやすく説明しました。



4 講演を聞いての感想

はじめは、地球温暖化についてあまり知らなかったし、考えることもありませんでした。ですが、実際に多くの被害を受けているキリバスの話を聞き、地球温暖化は多くの人のふるさとや命を奪ってしまうおそろしいものだということを強く感じました。今まで、そのようなことを深く考えていなかったなので、知ることができて良かったし、もっといろいろな人に知ってほしいと思いました。

今回、この講演を聞いて、地球温暖化の危険性がよくわかりました。地域のクリーン活動、ポイ捨て防止の呼びかけ、「ごはんを残すな！」といった家族の言葉、それらの意味が今回の講演会でわかりました。今後もこのような取り組みを続けていきたいと思いました。



福島県の環境保全の
キャラクター「エコたん」

講演を聞いて、自分にもできそうだったこと、やってみようと思ったことは何かな？また、それを実践してみてどう感じたかな？

- レジ袋は使わない。
- ペットボトルではなく、できるだけ水筒を利用する。
- 本当に必要か考えて買う。

レジ袋は、有料化になったこともあり、一度も使うことがなく、母もマイバッグを持っていっていました。スポーツリンクを買うときにペットボトルで買うこともありましたが、できる限り水筒を利用するようになりました。



- 自分にもできることから少しずつやってみたいので、エコバッグを持ち歩きたいです。

買い物に行くときは、できるだけエコバッグを持ち歩き、ビニール袋を使いませんでした。このような取り組みが環境の役に立つと思うと、うれしかったです。



- 家から学校まで車で送ってもらっているが、がんばれば歩いてこれる距離なので、少しはやく家を出て歩いて登校する。

夏休み中の部活の日は、歩いて学校に来た。暑くて大変な日もあったけど、毎回歩いてくることができた。普段の学校の日も、歩いてこれない日もあるが、休日の部活動の日は、これからも歩いてこようと思う。



- プラスチック製品の使いすぎなどに気をつけたり、ごみを見つけたら捨ったりすることをやってみようと思った。

道を歩いているときにごみを見つけて拾うことができたので続けていきたい。プラスチック製品の使いすぎはあまり取り組めなかったのが、意識したい。環境保護の大変さを知った。



ケンタロ・オノ様

先日は川俣中学校で地球温暖化やキリバスについて
さまざまなことを教えていただきありがとうございました。
私はキリバスの海の写真を見て、世界にはこんなに青くて
美しい海があることを知りとても感動しました。でもこの美しい
海が今はゴミが流れていたりするのはとても悲しいことです。
だけどそうしてしましたのは私たち人間のせいであって自然は
何も悪くないと改めて思いました。そしてキリバスの白い美しい
砂浜も海面の上昇で波にさらわれてとんとん無くなって
いくのも私たち人間が二酸化炭素を排出し過ぎたせい。
このようなことは知っていたけど、もう一度深く考えてみるとこれは
世界のどこでもこれから起こることです。やはり私たち
一人一人が地球温暖化について意識していけないと。
この問題は解決しないと思いました。私は日本の山々などの
自然風景が大好きだけどいつか、そんな景色も見られな
くなると思うと、悲しいし残念です。私は地球温暖化
について考えることはあまり無かったけど、これを機に私は
少しでも日本、そして世界にある美しいものを残していきたいと
思いました。だからまずは私にでもできるような身近な
ことから取り組んでいこうと思います。

川俣中学校 2年